

1年 外国語 シラバス

1 外国語科の目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。言い換えると、単語や文法の知識を覚えるだけでなく、それらを使って相手の言いたいことを聞いたり読んだりして正しく理解できるようになることである。また、持っている言語知識を駆使して、自分の考えを書いたり話したりして相手にわかりやすく伝える力を養うことも英語学習の大切な目標である。

2 教科における重点目標等

- (1) コミュニケーションに主体的に取り組む態度
土台となる部分です。外国語という「異文化」を受け入れ、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮し主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度があれば英語力は向上していきます。
- (2) 言語についての知識
意欲があっても英語を表現しようとしたくても表現する道具がなければ伝えることができません。授業では、単語や文法などの多くの道具を提供するので、それらを確実に学習することが大切です。
- (3) 表現力
単語や文法などの道具がそろったら、次は表現の力です。単語や文法を正しく使い、書いたり、話し合う活動を通して、根拠をもとに伝え合う力を育成するとともに、自分の伝えたいことを表現できる力を向上させる練習をしていきます。

3 学力を向上させる方法

- (1) 知識
その日に習う単語や文法は、授業内で理解して覚えていく。そのためには、予習・宿題・復習を欠かさず、繰り返し学習することが大切である。
- (2) 音読
その日に習った単語や英文は、書けるようになることに重視しがちであるが、読めるようになることもとても大切である。授業中に先生の後に大きな声で英語を音読し、家庭で一人でも発音・音読できるまでにしておく。発音の仕方は、授業中によく練習することが必須である。
- (3) 表現
英語を読んだり聞いたりする中で正しい構文を理解することができたら（インプット活動）、何も見ずに自分が伝えたい内容を英語で表現することができるように練習することが大切である（アウトプット活動）。これができて、初めて英語学習が成立する。

4 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
知識・技能	①外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ②①の知識を聞く・読む・話す・聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて正確に活用できる技能を身につけている。	定期テスト、小テスト 授業中の発言、ワークシートの内容、ワークやノートの取組状況
思考・判断・表現	①コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解できる。 ②①を活用して表現したり、伝えあったりしている。	定期テスト、小テスト、授業中のコミュニケーション活動、挙手発言、授業中のワークシートの内容、スピーチ・発表活動

主体的に学習に取り組む態度	<p>①外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手（聞き手・読み手・話し手・書き手）に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。自分の考えを話したり、つなぎ言葉を使って話を続けたりしようとしている。（話すこと）</p> <p>②間違いを恐れずに積極的に活動に取り組める。</p>	<p>ノートの取組状況、発音・音読・発表練習</p> <p>アクティビティの参加態度、授業態度、挙手発言、授業中のワークシートへの取り組み、チェックシートポイント</p>
---------------	---	---

5 家庭学習の仕方

<p>(1) 予習では、次に学習する本文の単語の意味を調べておく。本文もノートに書き、あらかじめわからない部分を整理して授業に臨む。</p> <p>(2) 復習では、その日に学習した英文を繰り返し音読し（5回以上が望ましい）、該当するワークのページに取り組む。</p>
--

6 年間学習予定

学期	単元名	学習のポイント
1 学 期	<p>中学校英語をはじめよう</p> <p>be 動詞（肯定・疑問・否定）</p> <p>一般動詞（肯定・疑問・否定）</p> <p>助動詞 can</p> <p>疑問詞を使った疑問文</p> <p>単数、複数の違い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介、小学校英語の復習、アルファベットの大文字と小文字の区別、フォニックスの復習 ・be 動詞の用法 ・一般動詞の用法 ・can の用法 ・疑問詞を用いた表現 ・数による名詞の表現の違い
2 学 期	<p>3 単現の-(e)s（肯定・疑問・否定）</p> <p>Who, When の疑問文</p> <p>代名詞</p> <p>Which, Whose の疑問文</p> <p>Can you～? Can I ～?</p> <p>現在進行形（肯定・疑問）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三人称単数現在 ・who, when で始まる疑問文 ・代名詞の格変化 ・Which, Whose で始まる疑問文 ・依頼する、許可を求める定型表現 ・現在進行形
3 学 期	<p>一般動詞過去（規則）（肯定・疑問）</p> <p>Why の疑問文 Because～.</p> <p>一般動詞過去（不規則）（肯定・疑問）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・過去時制の表現 ・Why～? Because～. ・不規則動詞の過去形